

日本学童保育学会 第14回研究大会

プログラム

ーハイブリッド開催ー

■日時：2024年6月22日（土）12時00分～

23日（日）9時00分～

■会場：東京家政学院大学 千代田三番町キャンパス

（〒102-8341 東京都千代田区三番町22）

<現地（東京家政学院大学）で参加される方へのお願い>

- ①現地参加される方は、事前に参加申し込みをし、大会参加費を当日受付にてお支払いください。
- ②「発表要旨集」は印刷・製本・配布しませんので、事前に送付されたファイルを各自印刷したものを持参されるか、端末に入れたものをご覧ください。（ご希望の方は簡易印刷した資料を受付にて1部500円にて販売いたしております。先着20部。）なお、会場にはご利用いただけるWi-Fiはございません。

<オンラインで参加される方へのお願い>

- ①オンラインでの参加の場合は、課題研究ⅠとⅡ、自由研究発表の第4分科会、若手会員のラウンドテーブルのみ参加可能となります。
- ②オンライン参加希望の方は、参加申し込みをし、必ず参加費を事前に指定の口座までお支払いください。
- ③参加申し込みをし、大会参加費の支払いが確認された方にZoomの接続情報をお知らせします。
- ④Zoomに接続時は名前を「フルネーム(所属)」にして下さい。接続するとまず待機室に入ってください、そこで申し込み名簿と照合させていただいた上で入室を承認します。
- ⑤討論時を除いて音声はミュートにして下さい。ビデオはオンにして下さい。
- ⑥Zoomアプリは最新のものをお使い下さい。通信環境は各自整えて下さい。
- ⑦万が一、進行を妨げる状況になった場合は、ご退室いただくことがあります。

<自由研究発表者へのお願い> ※自主企画発表者も①②をご参考にご準備ください。

- ①自由研究発表で使用するすべての教室に、プロジェクター及びPCがあります。現地発表者はUSBにてパワーポイント等発表用データをご持参ください。
- ②当日資料等を配布されたい場合は、各自でご準備・ご持参いただくこととなります。（部数につきましては例年、1分科会20～30部程度とお伝えしていますが、各自でご判断くださいますようお願いいたします。）
- ③自由研究発表は2日目9時30分から開始となりますので、9時00分～9時15分の間に発表教室（オンライン参加者はZOOM）に入室いただき、必ず事前に動作確認を行ってください。
- ④自由研究発表は、発表20分、質疑応答10分です。分科会ごとに、すべての発表が終了したのち、総括討論を行うことを予定しておりますので、ご予約ください。

■日程

6月22日(土)[第1日目]

10:15～11:15 理事会 (1階 1107教室)

12:00～ 受付 (1階ロビー)

12:30～15:45

課題研究Ⅰ「こどもの居場所づくり」と学童保育

(4階 1407教室・オンライン参加可能)

【趣旨】

「令和6年能登半島地震」は、子どものたちの居場所とそのサポート体制が脆弱であるとともに、社会的に優先順位が低いものであることを明らかにしました。本課題研究では、今求められている子どもたちの居場所とはどのようなものか、学童保育がつくりあげてきた放課後の子どもの居場所とはどのようなものか等について、国の政策動向と重ねながら議論します。

国は、2021年12月、「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針」において「こどもが安心して過ごすことができる場の整備に関する事務を所掌する」こども家庭庁を設置することを決め、2023年4月1日にこども家庭庁が発足されました。同日には子どもの権利条約の精神も位置づけられた「こども基本法」が施行され、2023年12月22日、従来の「少子化社会対策大綱」「子供・若者育成支援推進大綱」「子供の貧困対策に関する大綱」を一元化した「こども大綱」と「こどもの居場所づくりに関する指針」が定められました。

「こどもの居場所づくりに関する指針」は「こどもの居場所」を物理的な「場」だけではなく、遊びや体験活動、オンライン空間といった多様な形態をとり得るものとした上で、「その場や対象を居場所と感ずるかどうかは、こども・若者本人が決めることであり、そこに行くかどうか、どう過ごすか、その場をどのようにしていきたいかなど、こども・若者が自ら決め、行動する姿勢など、こども・若者の主体性を大切にすることが求められる」と述べています。そのため、「こどもの居場所づくり」は「こども・若者の視点に立ち、こども・若者の声を聴きながら居場所づくりを進めることが必要」であり、「様々なニーズや特性を持つこども・若者が、身近な地域において、各々のライフステージに応じた居場所を切れ目なく持つことができる」ようにすることを求めています。

このような「こどもの居場所づくりに関する指針」が求める「居場所づくり」は、学童保育を通して実現しようとする子どもたちの放課後の居場所づくりと同じものを目指しているのでしょうか。

本課題研究では、国が推進する「こどもの居場所づくり」について共通理解した上で(植木信一氏)、能登半島地震の被災地での学童保育の取組から求められる「こどもの居場所」について(鈴木瞬氏)、学童保育がつくり出している「放課後のこどもの居場所」について(執印由里子氏)、そして、子どもの権利を保障する居場所づくりについて(森本扶氏)ご報告をいただき、議論を深めていきます。

【報告者】

・植木 信一(新潟県立大学) 放課後児童クラブ運営指針の改正に向けた論点

こどもの居場所部会「児童厚生施設及び放課後児童クラブに関する専門委員会」

・鈴木 瞬(金沢大学) 災害時のこどもの居場所づくりと学童保育の役割

・執印 由里子(神奈川県指導員) 『明日も行きたい学童保育』～高学年と保護者の居場所～

・森本 扶(埼玉大学等・非) こどもの権利を保障する居場所づくりについて

～社会教育や児童館実践・研究の成果をふまえて～

【コーディネーター】

・住野 好久(中国学園大学)

16:00～17:00 自主企画

◆自主企画Ⅰ (6階 1602教室)

「判断の問われる場面調査」から指導員の専門性について考えるⅢ

企画代表者:大谷 直史(鳥取大学)

共同企画者:代田 盛一郎(大阪健康福祉短期大学)、二宮 衆一(和歌山大学)、

福 武利(佛教大学大学院修士課程)、松田 洋介(大東文化大学)、松本 歩子(京都教育大学)

本企画では、2023年12月～2024年1月に実施した「学童保育指導員の専門性に関する調査」(n=1,952)の報告を元に、専門性の概念やその実現状況、把握の方法等について議論を深めたい。本調査は「判断の問われる場面」調査(2001年、学童保育指導員専門性研究会実施)を手掛かりとして、ある場面における判断と視点、さらにこれらの規定要因を明らかにしようとしたものである。個々の専門性を支える集団としての専門性、子ども・保護者・同僚との親密な関係性をも専門性として捉えることができるのか、現場における総合的な判断の様相をどこまで捉えることができるのかなど論点は多い。当日は共同研究者3名の発表を予定している。

◆自主企画Ⅱ (7階 1707教室)

学童保育の危機対応を考える！

企画代表者:鈴木 瞬(金沢大学)

共同企画者:若井 暁(NPO 法人くらしき放課後児童クラブ支援センター統括責任者)、

糸山 智栄(岡山県学童保育連絡協議会会長)、紙上 くみこ(くろさきっず児童クラブ)

2018年7月の「西日本豪雨」における倉敷市真備町の学童保育の被害や、その時立ち上げられた緊急時の学童保育「まびひょっこりおもしろおたからクラブ」の実践について記録することを試みてきました。当日は、緊急時の学童保育実践を担った紙上くみこ指導員(くろさきっず児童クラブ)による振り返りと、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン国内事業部プログラムマネージャーの山田心健氏による助言をもとに、事前や直後の対応マニュアルに偏っている学童保育の安全対策・危機管理ではなく、「災害が起きた後にどうするか？」という危機対応について考えるきっかけを作りたいと思います。

17:15－18:15 総会(理事選) (4階1407教室)

18:30－20:30 懇親会 (4階ローズホール)

※懇親会終了予定時刻が20時→20時30分に変更となりました。

【休憩スペースのご案内】

下記の通り、休憩スペースをご用意しています。ご利用ください。

1日目：7階1706教室(自主企画～総会・理事選終了時まで)

2日目：5階1501教室後方(9時～13時30分まで)

6月23日(日)[第2日目]

9:00～ 受付 (1階 ロビー)

9:30～12:00 自由研究発表

<第1分科会>学童保育と自然・文化・歴史(6階 1602教室) 司会:増山 均

9:30～9:35 開会・諸連絡

9:35～10:05

学童保育施設における「遊び家具」の取り組み

○清水 肇(琉球大学)

10:10～10:40

学童保育における「生活」から「人と自然のかかわり」へのアプローチ
—福井県若狭町におけるアクションリサーチから—

○富田 涼都(静岡大学大学院山岳流域研究院)

10:45～11:15

戦後日本における子どもの権利の理解と発展について

○藤井 美保(佛教大学大学院)

11:20～11:50

地域における学童保育実践の成立と展開—1960年代から1970年代まで—

○石原 剛志(静岡大学)

11:50～総括討論

<第2分科会>スウェーデンの学童保育(7階 1706教室) 司会:宮崎 隆志

9:30～9:35 開会・諸連絡

9:35～10:05

スウェーデンの学童保育・保育科:マックスタクサ(上限額のある収入比例料金)制度の研究

○武田 宏(元・大阪府立大学)

10:10～10:40

スウェーデンにおける学童保育指導員の専門性の認識

○松本 歩子(京都教育大学), ○福 武利(佛教大学大学院修士課程), ○松田 洋介(大東文化大学),
大谷 直史(鳥取大学), 代田 盛一郎(大阪健康福祉短期大学), 二宮 衆一(和歌山大学)

10:45～11:15

スウェーデンにおける現場学童保育指導員の専門性向上の取組

○住野 好久(中国学園大学), ○鈴木 瞬(金沢大学), 松本 歩子(京都教育大学),
石原 剛志(静岡大学), 植木 信一(新潟県立大学), 塚田由佳里(同志社女子大学)

11:20～11:50

子どもの発達をどのように示したか - 1988年スウェーデン -

○小暮 健一(明星大学)

11:50～総括討論

<第3分科会> 学童保育実践の分析・ボランティア(7階 1707 教室) 司会:垣内 国光

9:30~9:35 開会・諸連絡

9:35~10:05

学童保育においてユーモアによる関わりで得られるもの~いざこざ、ケア、関係づくり等での効果~

○小林 飛呂斗(西江原キッズ(放課後児童クラブ))

10:10~10:40

保育園の小学生ボランティアから見てきた子どもの変化

○中村 真理子(多摩市永山小学童クラブ)

10:45~11:15

学童クラブ指導員と大学生ボランティアの協働に関する研究

○千野 たみ(筑波大学 大学院 博士後期課程)

11:20~11:50

クドバス手法による放課後児童支援員の職能の可視化

○佐藤 彩(神奈川大学 人間科学研究科 博士前期課程2年)

11:50~総括討論

<第4分科会> 学童保育実践の研究(オンライン&5階 1501 教室)司会:二宮 衆一

9:30~9:35 開会・諸連絡

9:35~10:05

けん玉のもしかめという技をより楽しく獲得していくことにこだわって

○札幌 敏朗(大阪市東住吉区 ひよこ学童保育所)

10:10~10:40

補助員等に対する研修の実施状況と特別に配慮が必要な子どもへの育成支援

○菅原 航平(福岡県立大学)

10:45~11:15

放課後児童クラブにおける自治的集団づくりの検討-K市児童館を対象として-

○山村 拓(桃山学院教育大学),新井 寛規(姫路大学)

11:20~11:50

学童保育指導員のチームワークに関する量的検討-指導員チームの共有メンタルモデルに着目して

○吉澤 英里(星槎道都大学),鈴木 瞬(金沢大学),住野 好久(中国学園大学),
長瀬 美子(大阪大谷大学),西垣 美穂子(明星大学),横山 剛士(金沢大学)

11:50~総括討論

<発表辞退>

子どもの自我と社会性の発達-学童保育における幼児期から児童期への移行期に関する研究

○森崎 照子(あいち保育研究所)

12:00~ 昼休憩

12:30～13:20 若手会員のためのラウンドテーブル

(6階 1602教室・オンライン参加可能)

田嶋 大樹 会員(東京学芸大学)より

「これまでのご経歴と、現在のご研究についての話題提供」

初開催！！若手研究者、そして新たに実践研究に挑戦しようとしている指導員会員のみなさんとともに、これからの学童保育研究のあり方を議論できるような場となっていくことを目指します。

※昼食をとっていただきながらの参加も可能です。

13:30～16:00

課題研究Ⅱ 学童保育指導員の専門性と専門職コミュニティの課題 ～トラウマ・インフォームド・ケアの問題に視点をあてて～

(4階 1407 教室・オンライン参加可能)

【趣旨】

日本学童保育学会は、毎年の研究大会において、学童保育実践に焦点をあてた課題研究(シンポジウム)を開いてきました。特に、近年は、障害、特に発達障害をもつ子どもや困難な養育環境に置かれてきた子どもと向き合う学童保育実践(報告)と、それに対する理論的応答をシンポジウム形式で実施してきました。

今回は愛着障害やトラウマを抱えた子どもたちに関わる学童保育実践について、学童保育指導員がうける傷つきや困難さを、指導員が専門職として支えあい、育ちあうコミュニティ形成の課題に着目してみたいと思います。

「子どもが好き」と思って新しくこの職についたはずなのに、子どもに傷つけられ、自分も自分の子ども観も否定され、戸惑うような事態は頻繁に生じてきます。

とりわけ、その子どもが何らかの原因で適切な愛着の関係を形成できる育ちをしてこれなかった場合や、DVの目撃など、トラウマを抱えるほどの養育環境で育ってきた場合、その子どもが指導員や仲間集団の中で表出する激しい問題行動を理解するための知やスキルがなければ、また、その子どもとの関わりの中で生じる傷つきを支え合っていけるような職員のコミュニティ、専門的な助言やコンサルテーションがなければ、指導員がどんどん追い詰められ、結果として離職に至ってしまうことも少なくありません。

ましてや、管理主義的な指導を求める管理職のもとでは、自分が望まないような子どもへの関わりを強要され、さらに苦境に立たされていくということもあるでしょう。

大げさな言い方かもしれませんが、大人を試し傷つけるような言動をしてくる子どもを理解し、学童保育指導員として生き残る(=成長していく)には、専門職としてのコミュニティやコンサルテーションが必要であり、それを可能にする条件整備が必要です。

もちろん、そのような理想的な条件がどこかに転がっているわけではありません。厳しい条件のなかでも、それを一歩一歩前にすすめてきた実践から学ぶ必要があります。

今回は、2人のベテラン指導員の実践報告と、研究者からの問題提起を軸に、この課題に取り組んでいきます。

【実践報告】

- ・M・Y(福岡県指導員) 深刻な愛着の問題を抱える親子への支援をめぐる職員の葛藤と職場づくり
- ・河野 伸枝(埼玉県指導員) 人とのつながりのなかで傷ついた子どもの回復を支える

【問題提起】

- ・楠 凡之(北九州市立大学) 学童保育におけるトラウマ・インフォームド・ケアを考える

【コーディネーター】

- ・石原 剛志(静岡大学)

■ 大会参加費

- 大会参加費(2日間) 会員3,000円 非会員4,000円 学生はそれぞれの半額。
(1日のみ) 会員2,000円 非会員3,000円 学生はそれぞれの半額。
- 現地にて参加される方は、当日、参加費をお支払ください。おつりのないようご準備ください。
- オンラインでの参加を希望する方は、参加申込みを行った上で、下記の学童保育学会の口座に、**6月20日(木)**までに参加費をお支払いください。

【ゆうちょ銀行 総合口座 加入者名：日本学童保育学会】

- ・ゆうちょ銀行口座間の場合→ 記号：14130 番号：89883251
- ・他金融機関からの場合 → 店名：418 普通 口座番号：8988325

■ 大会参加申し込み(締め切り6月20日)

- 大会に参加される方は、大会前日の**6月20日(木)**までに必ず事前に参加申し込みをして下さい。
- 参加申し込みは右のQRコード又は下記URLから「参加申込フォーム」にアクセスして、必要事項をご記入下さい。

研究大会参加申込フォーム



<https://forms.gle/aPMhgBgHm6qYcnNK7> (学会HPからもアクセスできます。)

- オンラインでの参加も可能です。ただし、オンラインでの参加の場合は、課題研究ⅠとⅡ、自由研究発表のオンライン分科会、若手会員のラウンドテーブルのみの参加となります。オンライン参加希望の方は、「参加申込フォーム」にて申込み後、必ず参加費を事前にお支払いください。参加費の支払いを確認できた方にのみ、事前にZOOM情報をお送りいたします。
- 6月20日(木)**までに必ず参加申し込みと参加費の支払いをお願いします。

■ 「懇親会」について(申し込み締め切り6月15日まで延長中)

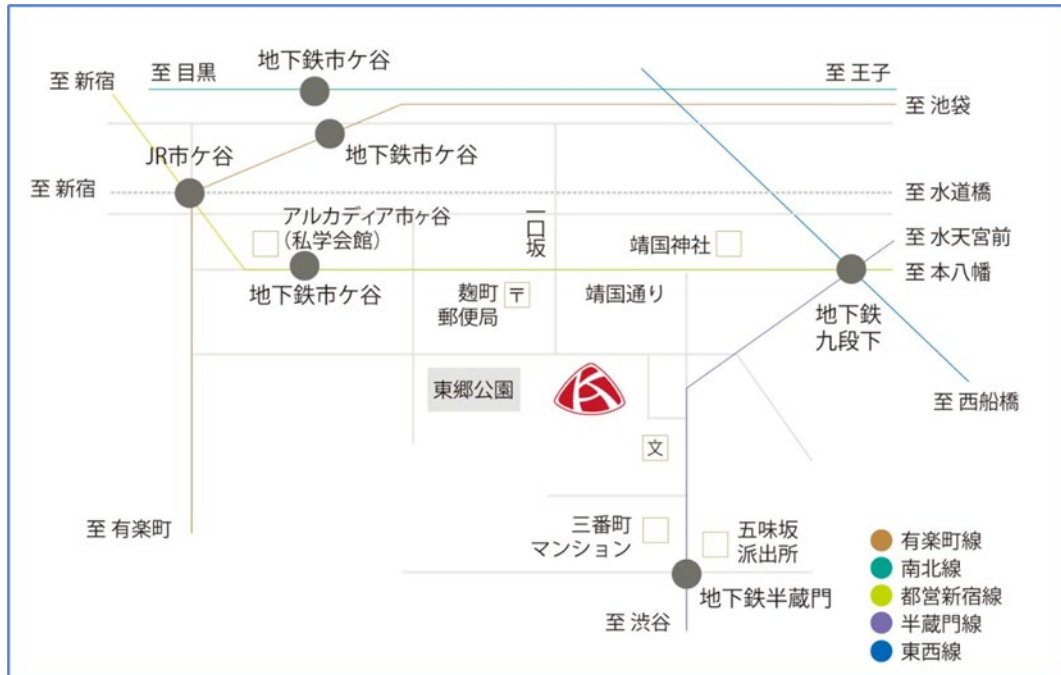
- 大会1日目6/22(土)18時半から懇親会を行います。事前申し込みが必要です。
- 会場は同会場内(東京家政学院大学1号館)4階ローズホール(カフェテリア)です。
- 参加費は、5000円です。当日受付にてお支払いくださいますようお願い申し上げます。
- 懇親会への参加希望者は、**6月15日(土)**までに、上記「大会参加申込フォーム」よりお申し込み下さい。
- 久々の懇親会開催となります。ぜひみなさまふるってご参加ください。

■ 会場までのアクセス

東京家政学院大学 千代田3番町キャンパス

〒102-8341 東京都千代田区三番町 22 番地

- ・市ヶ谷駅（JR 中央線・総武線、東京メトロ有楽町線、東京メトロ南北線、都営地下鉄新宿線）
下車 徒歩約 8 分（地下鉄 A3 番出口）
- ・半蔵門駅（東京メトロ半蔵門線）下車、徒歩約 8 分（5 番出口）
- ・九段下駅（東京メトロ東西線、都営地下鉄新宿線）下車、徒歩約 12 分（2 番出口）



東京家政学院大学千代田三番町キャンパスまでのアクセス方法の詳細は、下記の大学 HP をご覧ください。

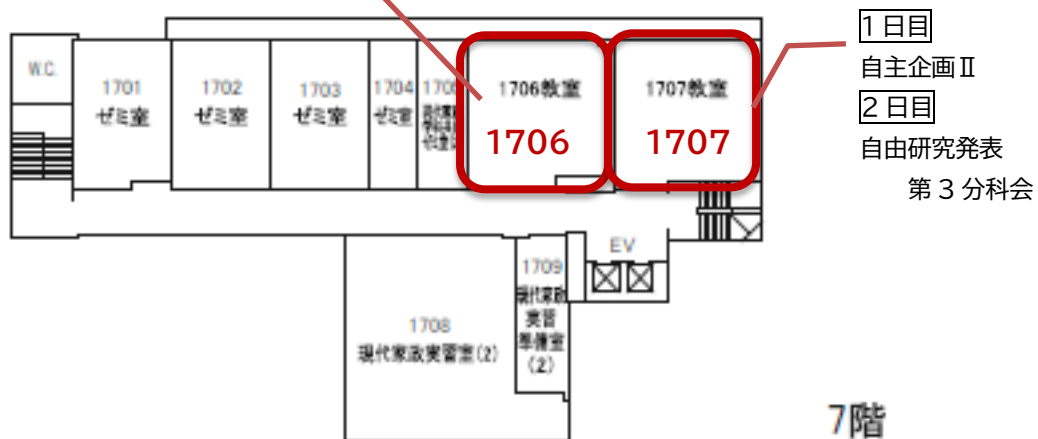
<https://www.kasei-gakuin.ac.jp/access/>

■ 駐車場について

駐車場はありません。公共交通機関にてお越しください。

■ 昼食について

学内の食堂は利用できません。大学周辺のコンビニや飲食店をご利用ください。会場の教室内での飲食は可能です。



<問い合わせ先>

□第14回大会の参加・発表等に関すること

第14回日本学童保育学会研究大会実行委員会 委員長 齋藤 史夫

E-mail: f.saito (at)kasei-gakuin.ac.jp ※ (at) は @ に置き換えて下さい。

□学会・入会・会員資格等に関すること

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地 京都教育大学教育学部 松本歩子研究室気付

日本学童保育学会事務局 事務局長 松本歩子 E-mail: jimukyoku@gakudouhoikugakkai.com

<学会HP>

<http://www.gakudouhoikugakkai.com/>